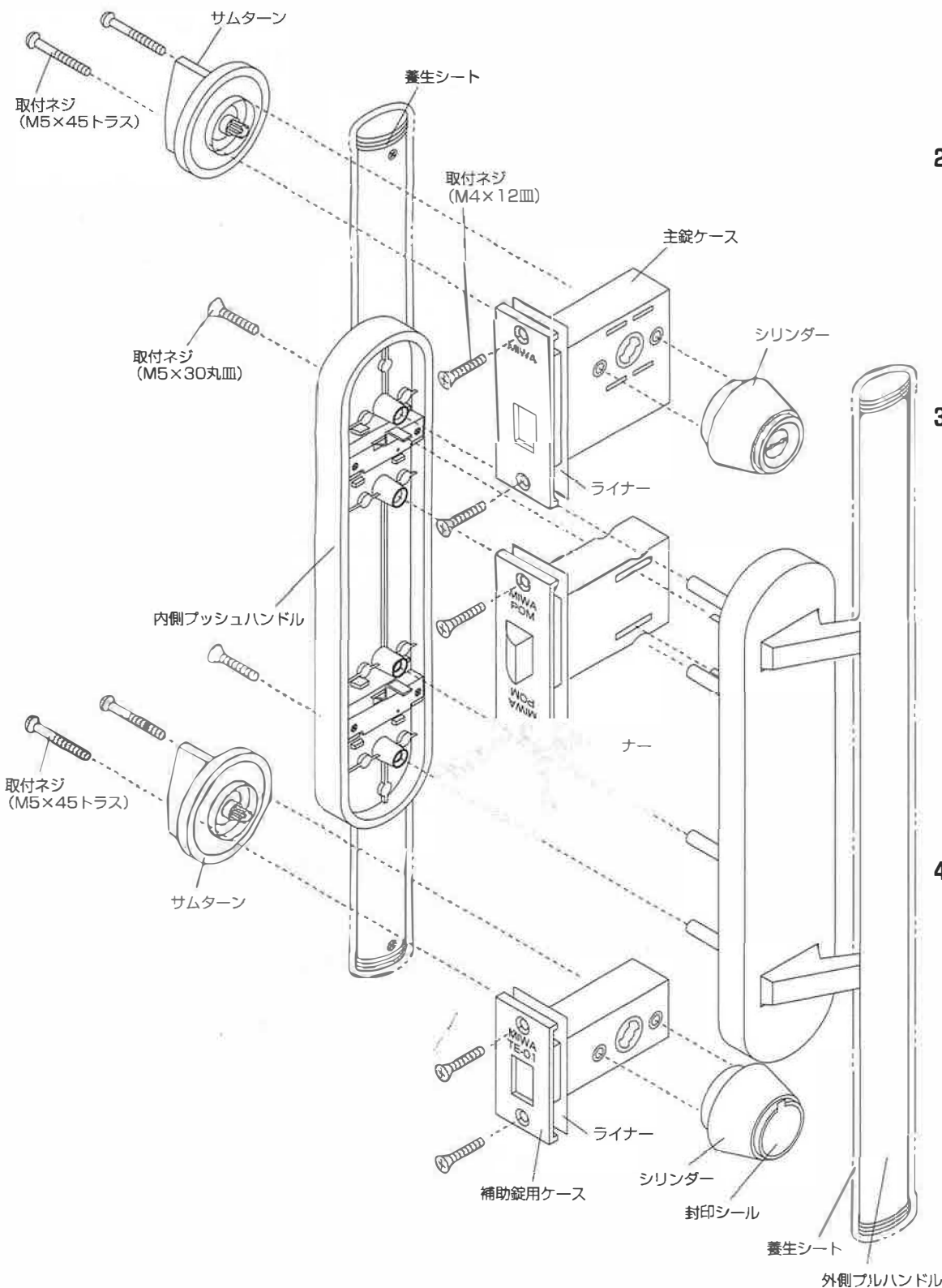




- ・スベリ止め付き手袋を御使用ください。金具で手を切ることもあります。
- ・把手等の突起物を足場にしないでください。滑って、けがをすることがあります。
- ・また、製品性能が低下することもあります。
- ・ネジは添付の物以外は、使用しないでください。
- ・ネジはこの取付説明書に従って正確に締め付けてください。締め不良の場合、故障の原因になります。
- ・全ての部品を取付後、正常に作動しているか確認してください。



1. ケース取付

主錠ケース、ラッチケース、補助錠ケースをMIWAマークが上になるようにし各々のフロントライナーを装着して取付ネジにて取付けてください。
 ①ラッチケースは扉の勝手にラッチの向きを合わせて取付ネジにて取付けてください。

2. シリンダー・サムターン取付

主錠ケース及び補助錠ケースにシリンダーとサムターンを取付ネジにて取付けてください。
 ①サムターンの向きは、解錠時にツマミが縦向きになる様にしてください。
 ②補助錠ケース用シリンダーは封印シールを貼付しています。

3. プッシュプルハンドル取付

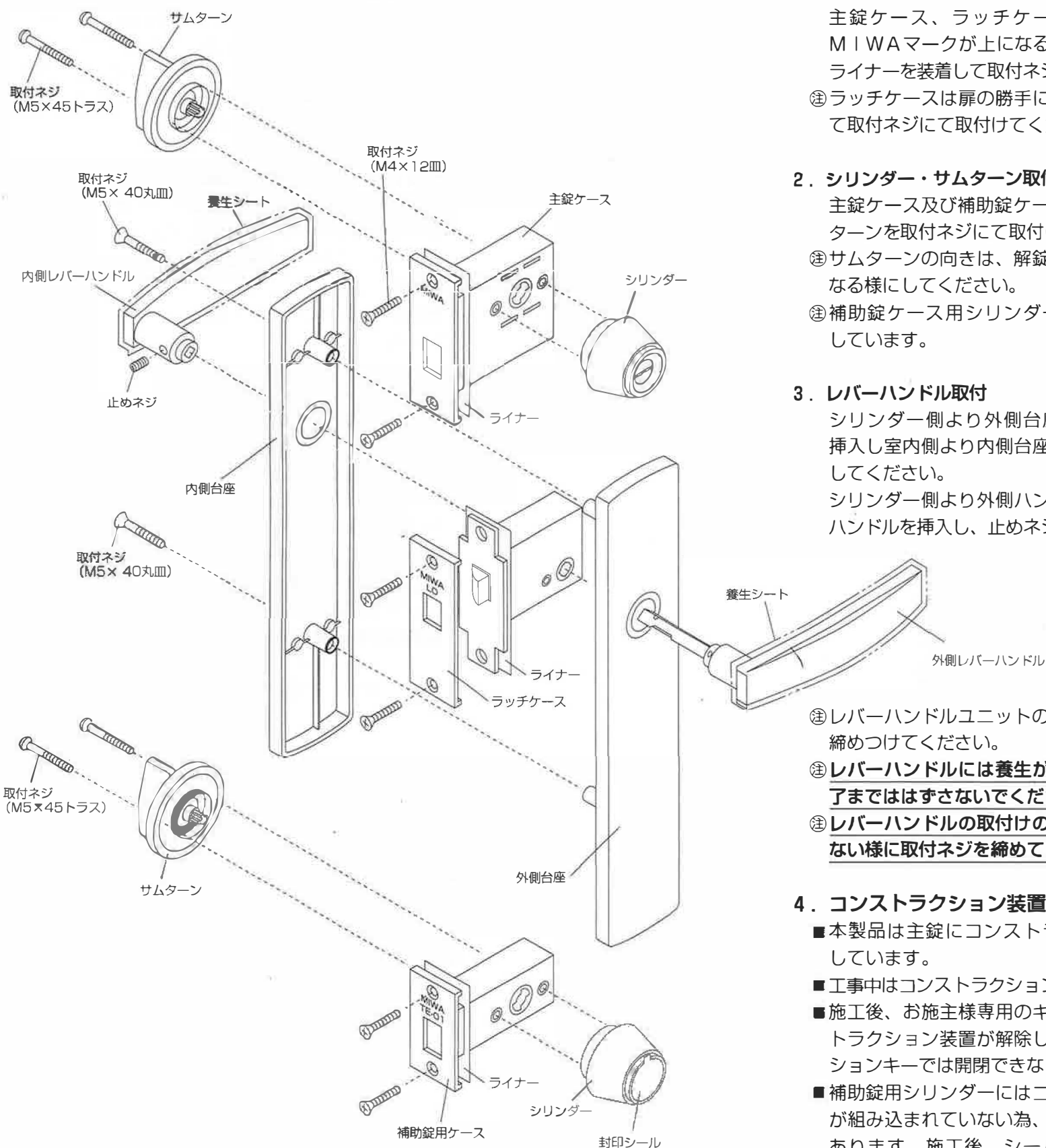
シリンダー側より外側プルハンドルの取付柱を扉切欠に挿入し室内側より内側プッシュハンドルと取付ネジにて仮止めしてください。
 ①プッシュプルハンドルユニットの作動確認後取付ネジを締めつけてください。
 ②**プッシュプルハンドルには養生がしてあります。施工完了までははずさないでください。**
 ③**プッシュプルハンドルの取付けの際はハンドルを傷付けない様に取付ネジを締めてください。**
 ④プッシュプルハンドルはまっすぐに取付けてください。曲がって取付けますと正常に作動しないことがあります。

4. コンストラクション装置について

- 本製品は主錠にコンストラクション装置を採用しています。
- 工事中はコンストラクションキーをご使用ください。
- 施工後、お施主様専用のキーで作動するとコンストラクション装置が解除し、以後はコンストラクションキーでは開閉できなくなります。
- 補助錠用シリンダーにはコンストラクション装置が組み込まれていない為、封印シールを貼付しています。施工後、シールをはがして、室内側よりサムターンツマミにて作動を確認後お施主様にお引き渡しください。



- ・スベリ止め付き手袋を御使用ください。金具で手を切ることもあります。
- ・把手等の突起物を足場にしないでください。滑って、けがをすることがあります。また、製品性能が低下することもあります。
- ・ネジは添付の物以外は、使用しないでください。
- ・ネジはこの取付説明書に従って正確に締め付けてください。締め不良の場合、故障の原因になります。
- ・全ての部品を取付後、正常に作動しているか確認してください。



1. ケース取付

主錠ケース、ラッチケース、補助錠ケースをMIWAマークが上になる様にし各々のフロントライナーを装着して取付ネジにて取付けてください。
 ②ラッチケースは扉の勝手にラッチの向きを合わせて取付ネジにて取付けてください。

2. シリンダー・サムターン取付

主錠ケース及び補助錠ケースにシリンダーとサムターンを取付ネジにて取付けてください。
 ②サムターンの向きは、解錠時にツマミが縦向きになる様にしてください。
 ③補助錠ケース用シリンダーは封印シールを貼付しています。

3. レバーハンドル取付

シリンダー側より外側台座の取付柱を扉切欠に挿入し室内側より内側台座と取付ネジにて仮止めしてください。
 シリンダー側より外側ハンドル、室内側より内側ハンドルを挿入し、止めネジを締めつけてください。

- ②レバーハンドルユニットの作動確認後取付ネジを締めつけてください。
- ③レバーハンドルには養生がしてあります。施工完了までははずさないでください。
- ④レバーハンドルの取付けの際はハンドルを傷付けない様に取付ネジを締めつけてください。

4. コンストラクション装置について

- 本製品は主錠にコンストラクション装置を採用しています。
- 工事中はコンストラクションキーをご使用ください。
- 施工後、お施主様専用のキーで作動するとコンストラクション装置が解除し、以後はコンストラクションキーでは開閉できなくなります。
- 補助錠用シリンダーにはコンストラクション装置が組み込まれていない為、封印シールを貼付してあります。施工後、シールをはがして、室内側よりサムターンツマミにて作動を確認後お施主様にお引き渡しください。